

# 若い人の自殺について

2023年4月27日 太田隆次

## 1. まず若い人の自殺者数の推移です（直近13年間）

下表は平成21年から令和3年までの直近の13年間の中学生と高校生の男女別自殺者数の推移です。（警察庁「自殺統計」より作成しました）  
実に痛ましいかぎりです。

	中学生		高校生	
	男子	女子	男子	女子
平成21年	52人	29人	144人	82人
22年	47人	27人	138人	70人
23年	47人	24人	178人	93人
24年	56人	22人	155人	92人
25年	59人	39人	149人	64人
26年	72人	37人	149人	64人
27年	72人	30人	158人	83人
28年	56人	38人	137人	77人
29年	70人	38人	168人	73人
30年	77人	48人	139人	97人

令和	元年	64人	46人	199人	80人
	2年	77人	69人	200人	140人
	3年	74人	74人	167人	145人

コメント：グラフにするとよく分かるのですが、男子女子ともに自殺者数はどの年度を比べても突発的変化はなく概ね塊りとなっています。

## 2. 次に自殺の原因・動機です

以下は、平成21年から令和3年を対象期間として自殺の原因と動機をまとめたこの「自殺統計」の要約です。

中学生では：「学校問題」が男子では31%、女子では38%が該当します。「家庭問題」は男子では家族からのしつけ、叱責などの「20%」、女子では「親との不和：などの26%が該当します。

「学校問題」は男子では「学業不振」、女子は「学友との不和：が高い。

高校生では：男子では「学校問題」の35.6%が最も高く、「健康問題」が15.5%、「学業不振」「進路の悩み」が続きます。

女子では「健康問題」が31.8%と最も高く、「うつ」「その他の精神疾患」が次いで高い。

### 3, 最後に「対策」です

厚生労働省の自殺対策白書、警察、地方自治体、医療機関、学校の指導など、それぞれの役割を果していますが、私見では、この問題はとどのつまりは親と本人の問題です。

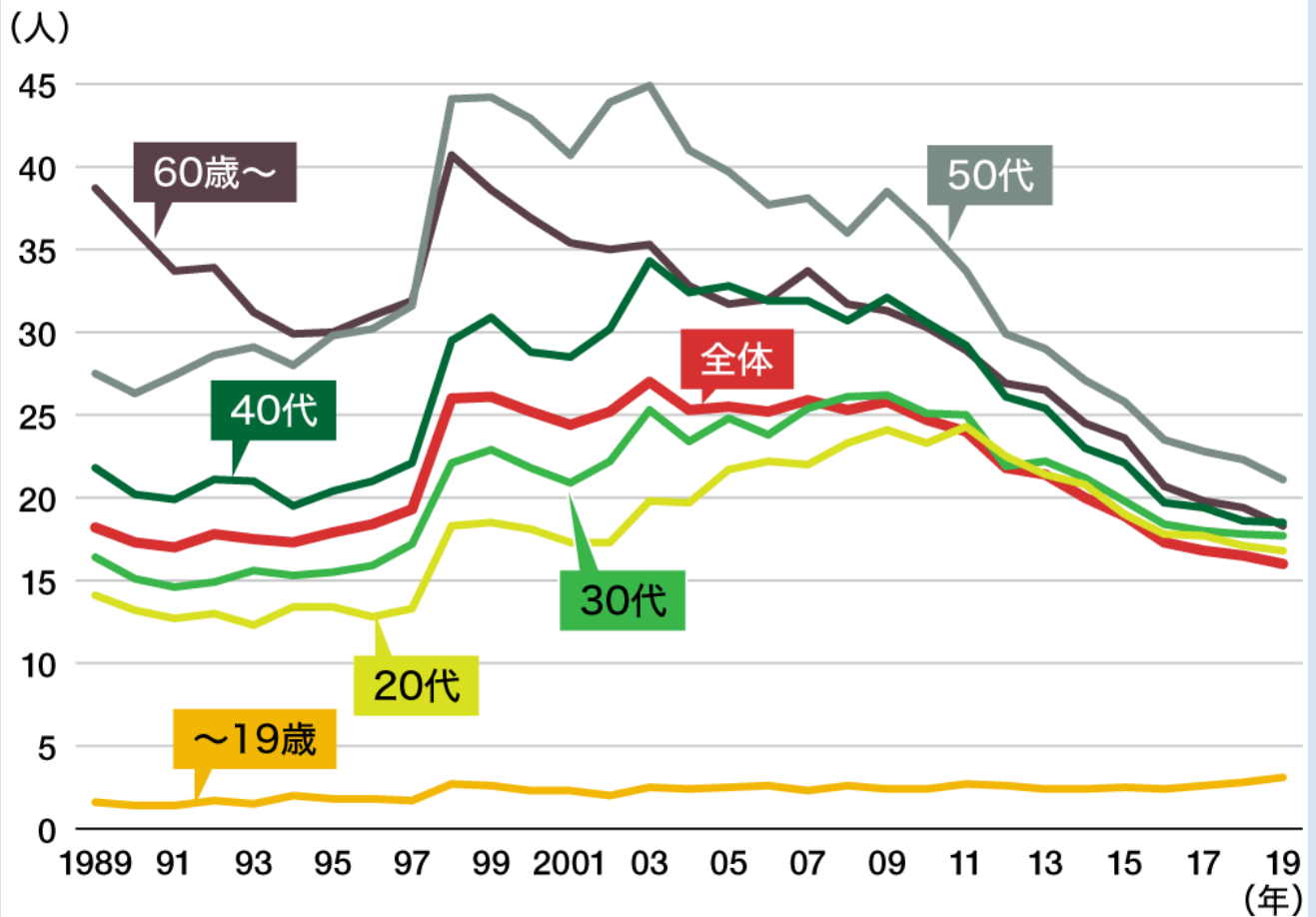
尚、海外との比較では「若い世代の死因トップが自殺はG7では日本だけ」です。

出来るだけ早い機会に皆様に海外の若い世代の自殺の詳細をご紹介します。

終わり

参考データです

## 自殺率の推移(人口10万人当たりの人数)



出所：厚生労働省「自殺対策白書」

nippon.com

年代別の死因順位をみると 15～39 歳の各年代の死因の第 1 位は自殺となっている。15～34 歳の若い世代で死因の第 1 位が自殺となっているのは、先進国（G7）では日本のみでありその死亡率も他の国に比べて高いものとなっている。

## 年齢階級別の死因上位 3 位

年齢	死因の上位 3 位
全体	がん / 心疾患 / 老衰
10～14	がん / 自殺 / 不慮の事故
15～19	自殺 / 不慮の事故 / がん
20～24	自殺 / 不慮の事故 / がん
25～29	自殺 / がん / 不慮の事故
30～34	自殺 / がん / 不慮の事故
35～39	自殺 / がん / 心疾患
40～44	がん / 自殺 / 心疾患
45～49	がん / 自殺 / 心疾患

出所：厚生労働省「人口動態統計」

## 先進 7 カ国 + 韓国の 15～34 歳の死因上位 3 位 自殺の欄の ( ) は自殺率

	1 位	2 位	3 位
日本	自殺(16.3)	事故	がん
フランス	事故	自殺(7.9)	その他
ドイツ	事故	自殺(7.5)	がん
カナダ	事故	自殺(10.6)	がん
米国	事故	自殺(14.1)	殺人
英国	事故	自殺(7.4)	がん

イタリア	事故	がん	自殺(4.1)
韓国	自殺(16.3)	事故	がん

出所：厚生労働省「自殺対策白書」/フランス 2014 年、カナダ 2013 年、それ以外は 2015 年のデータ